



氏名 板倉 尚子

年齢 60

勤務先名称 日本女子体育大学健康管理センター

立候補の趣旨

●東京都理学療法士協会活動

2012年度～2014年度 スポーツの理学療法委員会副委員長

2015年度～2018年度 スポーツ局次長

2019年度～現在 スポーツ局局长

●日本理学療法士協会活動

2014年度～2020年度 日本理学療法士協会代議員

2017年度～2018年度 スポーツ支援推進執行委員会委員

2019年度～2020年度 2020年東京大会推進委員会総務小委員会副委員長

2018年度 学校保健推進執行委員会委員

2019年度～2020年度 学校保健委員会委員

2021年度～現在 日本理学療法士協会理事

第3期スポーツ基本計画では多様な主体におけるスポーツの機会創出とし、施策目標に成人の週1回以上のスポーツ実施率が70%（障がい者は40%）になることを目指すとしている。またスポーツ庁では令和4年度に実施した「障害児・者のスポーツライフに関する調査研究」の調査結果から、障害のある人とない人が共にスポーツをするインクルーシブなスポーツ環境の整備や障がい者特有のスポーツの実施に係る障壁の解消とスポーツ実施体制の課題の解消の取り組みを実施しており、これをうけて地方公共団体では地域スポーツ関連事業計画が盛んに動いている。当会スポーツ局では地域行政と連携し、東京都内における地域スポーツを推進し都民がスポーツを通じ健康で豊かな生活を過ごせるよう取り組みたいと考えている。また、学校保健安全事業においては児童生徒等の健康の保持・増進を図るために、理学療法士が有する知識と技能を活かし、学習および生活支援・指導を実践するための事業を推進する。学校保健安全事業への理学療法士の関わりは児童生徒への予防・安全教育に関わることであり、生涯を通じた予防への取り組みにつながる。児童生徒のフィジカルリテラシー習得に理学療法士の知識・技術を活用し働きかけたい。子どもたちの健やかな未来のために活動を繋げる所存です。どうか宜しくお願い致します。



氏名 南雲 健吾

年齢 51

勤務先名称 リハビリ企画合同会社

立候補の趣旨

東京都理学療法士協会では2015年より生活期共通評価表作成委員会の委員長として東京都作業療法士会および東京都言語聴覚士会と連携し、訪問・通所・難病の各評価表の普及啓発に努めております。

2019年からは福祉保健局の局長を拝命し、小児・成人・高齢・障害の方々を対象とした福祉と保健のそれぞれの分野における理学療法の価値を高める活動をしております。

第38回東京都理学療学会大会では「東京におけるスポーツと理学療法」をテーマに大会長を担わせていただき、TOKYO2020オリンピックの聖火ランナーも務めさせていただきました。

地域活動においては北多摩西部圏域で初となる立川支部を設立し2020年まで支部長として尽力してまいりました。現在は東京都理学療法士連盟立川市支部長として地元議員との連携に努めているところです。

コロナ禍の収束に伴い我々理学療法士と地域住民を繋ぐ当協会の役割はますます大きなものとなってくると考えております。

そして、教育・指導・管理のすべての面において、質の高い理学療法士を育成するためにも、これまでの組織運営や研修会の企画実施で培ってきた経験が役立つと考えております。

東京都理学療法士協会の理事として活動していけるよう、皆様のご支援を何卒賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



氏名 鈴木 享之

年齢 45

勤務先名称 長汐病院

立候補の趣旨

【東京都理学療法士協会活動】

2021～2022年度 理事
2016～2020年度 代議員
2011年度～現在 地域活性局 区西北部ブロック部部員
2017年度～現在 豊島区支部部長（2019年度迄）／副支部長
2018年度～現在 スポーツ理学療法運営担当者
2019年度～現在 スポーツ局 次長

【日本理学療法士協会活動】

2018年度～現在 代議員
2017～2019年度 スポーツ支援推進執行員会 総務小委員会委員
2020～2021年度 2020人材育成実践管理者検討委員会委員
2021～2022年度 オリパラレガシー編集作業部会員
2023年度～現在 協会役員・士会長OGOBネットワーク部会員

【立候補の趣旨】

スポーツ庁は「幼児期の運動遊びを通じ身体を動かす事が、大人になってからの体力や健康に大きな影響を及ぼす」と言っています。私は約10年前より「子供の未来をピッカピカに」と言う合言葉の下、士会活動に励んで来ました。その結果、理学療法士協会だけでなく他組織の方々と共に、スポーツ活動サポートだけでなく運動器の健康における傷害予防として「フレイル転倒予防講座」「保育園／小中学校における姿勢・コーディネーショントレーニングと安全教育」「子供とパパの運動遊び講座」等多くの地域活動が出来る様になりました。そして今、児童生徒に向けた新しい活動が動きだそうとしています。都士会活動にて学んだ経験を活かし、①「多職種活動にて自己発見と広い視野を都士会員の皆様に楽しく学び体験して頂く」②「0歳～高齢者に至る迄、人の人生の様々な場面で活動・活躍できる理学療法士の可能性を都士会から発信していく」この2つを軸に理事活動を行っていく所存です。皆様、ご支援ご協力の程どうぞ宜しくお願い致します。



氏名 古川 順光

年齢 55

勤務先名称 東京都立大学健康福祉学部

立候補の趣旨

この度、東京都理学療法士協会理事に立候補いたしました。よろしくお願いたします。私は現在養成校の教員をしておりますが、教育現場ではコロナ禍以前とは全く変わってしまったと感じることが多くあります。接触機会の激減により、緊密だった学生間の関係も希薄になり、後輩が先輩から学ぶ機会も減っています。また、オンライン授業が積極的に取り入れられたことにより、知識の伝達・修得が効率よくできるようになりましたが、技術のコツや勘など、対面での経験が必要なものは以前より修得が困難になっていると思います。一方で多様性の時代とされる現代では、学ぶ機会や就業の機会も幅広く設定されるべきであるとも思われます。すなわち養成校での教育・就職後の生涯教育の重要性がより高まっているといえます。

私は養成校教員、東京都理学療法士協会の新人教育担当として、理学療法士教育に関わって参りました。これまでの経験を活かし、また新たに学びながら、多様性の時代、コロナ禍後の時代の理学療法士に必要なサポートをして参りたいと思います。よろしくお願いたします。

平成14年度～平成21年度 社団法人東京都理学療法士会学術局新人教育部員
平成19年度～平成21年度 第44回日本理学療法学術大会準備委員、運営調整部長、
学術誌作成部長、人員管理部長
平成22年度～平成24年度 社団法人東京都理学療法士会学術局新人教育部長
平成25年度～平成26年度 第33回東京都理学療法学術大会準備委員長
平成25年度～令和2年度 公益社団法人東京都理学療法士協会理事
平成25年度～現在 公益社団法人東京都理学療法士協会学術局次長、新人教育部長
平成26年度～現在 公益社団法人日本理学療法士協会代議員



氏名 齋藤 弘

年齢 44

勤務先名称 辻内科循環器科歯科クリニック

立候補の趣旨

皆様にご理解いただき当選が叶えば、これまでの都士会・連盟活動で培った業界内外のネットワークや公益事業の推進経験を最大限に活かし、首都東京の機能そして都民の医療・保健・福祉の向上に努め、都士会員であることを誇りに思えるような組織づくりに努めて参ります。また、次の未来に希望のバトンを繋げられるよう、真摯に士会運営に取り組んでいく所存です。以下に、私が特に取り組みたいことの3点をお伝えいたします。

1. 都士会の底力を高める

会員による集合知と、組織による行動力や交渉力は都士会の強みです。学術大会や研修制度による理学療法科学の追求・理学療法士の職域拡大・都民への直接還元事業の推進などを進めることは、都士会の事業目的に合致するものです。会員皆様の大切な会費をお預かりして、これらを進めることは、より一層社会に求められる医療専門職になることへ繋がり、かつ会員である事に魅力を感じる都士会活動になると考えます。

2. 医療・介護・福祉制度の中での理学療法士の活躍推進

とりわけ今、脳卒中・循環器病対策基本法における東京都の具体的な施策に際して、本会の役割をより明示できるよう各機関と連携を強化する必要性を感じております。例えば、東京都循環器病対策推進協議会（令和5年6月26日実施）で提示された今後の課題では「再発・重症化予防に向け、高齢心不全患者等の在宅療養において適切なリハビリ導入」が挙げられています。その他にも「リハビリ」が散見されながら、具体的には未着な状況です。医療体制の議論のみならず、私たちの視点で循環器病対策の地域課題や地域資源を探り、シームレスな対策を提案していくことにチャレンジしたいと考えます。

3. 一歩進んだ地域リハビリテーションの創造

災害対策・教育・街づくり・労災予防等の領域においては、行政や各種団体そして地域の方々と連携する中で、私たちの知見・技能を発揮することによって、今見えていない価値を生み出す可能性が充分にあります。私がこれまでの都士会活動を通じて得た大変多くの経験といくつかの成果を活かし、今の教科書には載っていない地域リハビリテーションを創造し、皆様と理学療法士の職業価値を高めたいと考えます。



氏名 渡邊 祐介

年齢 42

勤務先名称 浮間中央病院

立候補の趣旨

<東京都理学療法士協会>

平成28年度～現在 東京都理学療法士協会代議員
平成28年度～現在 地域活性局 区西北部ブロック部部員
平成28年度～現在 公開講座準備委員会委員
平成29年度～令和1年度 スポーツ局部員
令和2年度～4年度 スポーツ局 スポーツイベントサポート部部長
令和5年度～現在 スポーツ局 子どもの健康・安全部部長

<日本理学療法士協会>

平成29年度～30年度 スポーツ支援推進執行委員会 総務小委員会委員
令和1年度～現在 日本理学療法士協会代議員

私は平成28年より東京都理学療法士協会の代議員として活動させて頂いております。特に地域での活動やスポーツ現場での活動に関わらせて頂いております。

スポーツ庁では「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことはすべての人々の権利」というスポーツ基本法に掲げられた理念の下、誰もが身体を動かすことを心から楽しみ、健康で豊かな日本を作るべく取り組みを進めています。運動は子どもから高齢者まで健康な生活を送る上で大変重要になります。運動をすることで生活の充実感が向上すること、心の健康にも効果があること、様々な疾病の予防になること、子どもでは体力と学力に相関があることも認められています。

「子どもから高齢者・楽しい運動・健康」をキーワードに地域でどなたでも安全・安心に楽しく運動できる環境の提供に貢献していきたいと考えます。

ご支援の程、宜しくお願い致します。